

「実臨床における天疱瘡に対するリツキシマブ有効性・安全性の検討」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2026年 7月 2日～ 2030年 3月 31日

〔研究課題〕

実臨床における天疱瘡に対するリツキシマブ有効性・安全性の検討

〔研究目的〕

天疱瘡患者さんに対するリツキシマブ治療の有効性と安全性を明らかにするとともに、リツキシマブ導入による全身ステロイドの減量効果を検討します。

〔研究意義〕

天疱瘡は従来、全身ステロイドで治療されていますが、副作用の問題からステロイドの減量が重要な課題です。リツキシマブは B 細胞を標的とする新しい治療法として注目されていますが、実臨床における有効性・安全性やステロイド減量効果に関する情報は限られています。本研究により、より安全で有効な治療法の確立に役立つことが期待されます。

〔対象・研究方法〕

2017年4月1日から2026年4月30日までに帝京大学医学部附属病院皮膚科を受診し、天疱瘡に対してリツキシマブ治療を受けられた患者さんを対象とします。カルテから診療記録を後ろ向きに収集し、治療効果・副作用の有無・ステロイドの投与量について検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科

責任者：帝京大学皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には個人情報が分からなくなる加工を行うため、患者さんが特定されることはありません。研究終了後、情報を倫理委員会事務局に提出し、臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

研究分担者：教授 鎌田昌洋

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211（代表）